

## 【やっぱり長野も熱かった！】

今年も「夏い暑」、じゃなくて「暑い夏」でしたね。そんな夏を涼しく過ごそうと第3戦目となったGRAジムカーナグランプリは、8月16日長野県で行われました。しかし長野も暑かった、といっても照りつける太陽の暑さではなくて、会場となったアルピコ自動車学校は全国各地のライダー達の＜熱気＞に満ちていました。というのも長野県は関東と関西の丁度中間位の所に位置することから、嬉しいことに今回関東方面からの参加者も多く、文字どおり全国各地のライダーがこの日この会場に集結したのです。

ところでこのジムカーナグランプリの最大の特徴である「ポイント制度」のことはもうご存じですか？シリーズ6戦通じてクラス入賞や総合入賞は勿論、実力の目安としてGRAで算出している「タイム指数」をもとにして指数アップ、クラスアップなどの実力アップに対してもそれぞれ「ポイント」が与えられ、「参加することに意義がある」ということで惜しくも入賞と実力アップを逃しても、参加してコースを一回でも完走すると「完走ポイント」が与えられる、という制度です。そしてそのポイントはシリーズ最終戦において、個々の成績の良かった4戦を対象にして合計され、総合又はクラス別（最終所属クラス）で高ポイントを獲得した選手上位何名かが表彰されます。

第2戦までのポイントランキングトップは、今やGRAのアイドル的存在となった若干18歳（になった？）、神戸在住の白石 健君でした。そして第3戦でのポイント集計結果、総合ではまたもや白石君がトップでした。今回はスズキGS400Eに乗り換えての健闘で第2ヒートゴール直前で大転倒をしつつもタイム指数アップでポイントを稼ぎました。2番目は石川県から参加のTZR250に乗る荒井 久貴さん。彼は大幅なタイム指数アップと同時にクラスアップ、そしてCクラス1位という成績で今回第3戦参加者中最高ポイントを獲得し、参戦2戦目で見事ポイントランキング上位入賞を果たしました。

なんだかアメリカンドリームというか一発逆転というか（？）このポイント制度にはこんな面白味があるんだなあって思いました。がんばった結果がうまく本番で発揮出来れば、その結果が目に見えるって感じ。でもその得点が少なくてもがっかりしないで。大切なのは得点の多さじゃなくてそれをどうやって獲得できたか、だと思えます。実力発揮出来てタイム指数が少しだけ上がったからだとか、惜しくも実力発揮は出来なかったけど遠いところからがんばって参加してちゃんとコースを完走できたからだとか、どんな得点でも一人一人自分なりの意味があるはず。その得点が少ないことを悔しく思うのなら、次回がんばって参加していい結果が残せるように努力すればいいし、少ない得点でもその意味が自分で満足出来れば喜ばばいいし、自分がどれだけがんばれたかの証拠、それがこの「ポイント」でも知ってもらえれば幸いです。

このポイント制度は先程も述べたように95年シリーズ6戦のうち成績の良かった4戦を対象に算出されるので、全戦参加出来なくてもまた第3戦までは成績がふるわなかった人にもまだまだ上位入賞のチャンスはあります！次回第4戦は9月23日広島にて開催されますので、ぜひ参加してみてください。また全国各地の人達と一緒に楽しいひとときを過ごせることを楽しみにしています！